

お知らせします 水道事業の上半期業務状況

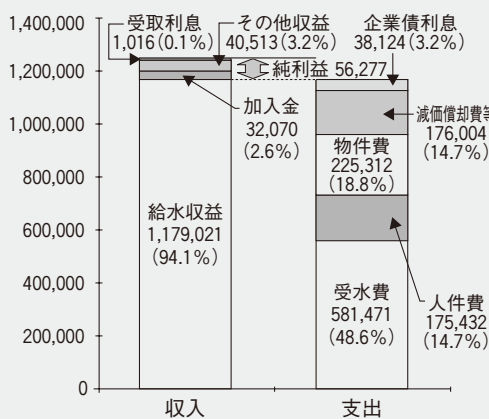
平成23年度の上半期の業務状況および対前年度上半期比較は、次のとおりです。

水道事業業務表 (平成23年4月1日～9月30日)

項目	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
給水区域内総人口	127,143 人	127,877 人	△734 人	△0.6%
給水人口	127,133 人	127,867 人	△734 人	△0.6%
上半期総配水量	7,573,458m ³	7,696,340m ³	△122,882m ³	△1.6%
内訳	企業団水道	7,469,258m ³	△157,382m ³	△2.1%
	大阪市営水道	104,200m ³	34,500m ³	49.5%

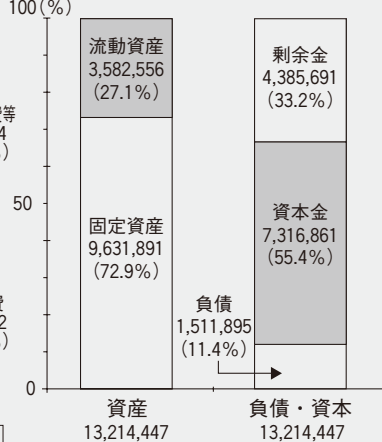
損益計算書

(平成23年4月1日～9月30日) (単位：千円)



貸借対照表

(平成23年9月30日) (単位：千円)



収入計	1,252,620千円	支出計	1,196,343千円	純利益	56,277千円
-----	-------------	-----	-------------	-----	----------

概要

平成23年度上半期の配水量は、前年度に比べ、8・9月の猛暑日が少なく、配水量が減少しました。料金収入は、平成22年10月の料金改定もあり減収となりましたが、費用においても工事請負費などが減少したため、上半期の純利益は、56,277千円となりました。

配水量および給水量

配水量は、7,573,458m³で前年度に比べて1.6% (122,882m³) 減少し、給水量も7,079,895m³で前年度に比べて3.1% (225,165m³) の減少となりました。配水量は平成11年度以来13年連続の減少となっています。

用途別給水量

用途別では、前年度と比べ一般家庭用で2.3% (136,034m³)、官公署・学校・病院用で5.5% (25,594m³)、浴場用で22.8% (7,592m³)、事業用で7.7% (58,075m³) それぞれ減少し、臨時用で40.2% (2,130m³) 増加しました。

経常収支

収入面では、前年度と比べ営業収益が給水量の減少や料金改定等により7.9% (104,607千円) の減、営業外収益は加入金の減少により16.8% (6,943千円) の減となり、収益全体では8.2% (111,550千円) 減の1,252,620千円となりました。

支出面では、前年度と比べ営業費用が工事請負費などの減少により4.9% (59,232千円) の減、営業外費用は企業債利息などの減少により2.6% (1,047千円) の減となり、費用全体では4.8% (60,279千円) 減の1,196,343千円となりました。

その結果、上半期は56,277千円の純利益を計上することとなりました。

下水道局総務課 ☎871・1191

※ マスクの装着は説明はありませぬ。

※ マスクを着用しているからといって、ウイルスの吸入を完全に予防できるわけはありません。

※ マスクを着用していても、N95マスクなど密閉性の高いマスクは適していません。

※ マスクを着用していても、ウイルスの吸入を完全に予防できるわけはありません。

※ マスクを着用していても、ウイルスの吸入を完全に予防できるわけはありません。

! こんな時は受診を!

大人

- 症状改善後の再発熱や咳の悪化
- 嘔吐や下痢が続いて、水分がとれない状態が続く
- 息がしにくい、息切れがある
- 胸部や腹部の痛みや圧迫感が続く
- 突然のめまい、反応がにぶい

子ども

- 呼吸が速く、息苦しそうにしている
- 顔色が悪い(土色、青白い)
- 嘔吐や下痢が続いており、水分がとれない
- 機嫌が悪く、抱っこされることを嫌がる
- 落ち着きがない、遊ばない、反応がにぶい

大阪府健康医療部保健医療室 制作・発行のリーフレットより抜粋

インフルエンザを予防しましょう!

○ 手洗い、うがいの徹底で感染予防

○ 症状があるときは、「せきエチケット」で感染拡大防止

「せきエチケット」とは

○ せき・くしゃみが出たら、他の人につぎさないためにマスクを着用しましょう。

○ マスクを持っていない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から1メートル以上離れましょう。

書をよく読んで、正しく着用しましょう。

インフルエンザの典型的な症状としては、高熱(38度以上)、鼻水、くしゃみ、せき、のどの痛み、筋肉痛、下痢、嘔吐などがあげられます。

9529 園地域保健課 ☎874・9500 FAX 874・

